



平成 29 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 東 海 カ ー ボ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 坂 一
(コード番号 5301 東証第一部)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 本 部 経 営 企 画 室 長 初 鹿 野 緑
(TEL. 03-3746-5100)

中期経営計画 T-2018(Phase1)の総括ならびに(Phase2)成長戦略について

当社は、平成 28 年 2 月 12 日に発表致しました中期経営計画 T-2018 の Phase 2 (成長戦略)を策定致しましたので、Phase 1 の総括と併せ、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. T-2018 の概要

(1) 期間

2016 年～2018 年の 3 カ年計画

(2) 基本戦略

2016 年 (Phase 1) を、事業再構築と社内意識改革からなる構造改革の年と位置付け、2017 年以降を Phase 2 として、ポスト T-2018 を睨んだ成長戦略に軸足を移します。

(3) 業績目標 (2018 年)

売上高	: 1,100 億円
営業利益	: 90 億円
ROS	: 8%以上
ROIC	: 6%以上

2. 2016 年(Phase1)の総括

事業再構築については、当初想定した課題に全て取り組み、ほぼ計画通り達成いたしました。事業再構築の結果として、多額の損失計上を余儀なくされましたが、収益体質は改善されました。

社内意識改革については道半ばですが、引き続き、不退転の決意で取り組んでまいります。

3. フェーズ2の概要

(1) 収益性改善

事業環境の厳しい黒鉛電極事業、ファインカーボン事業については、Phase 1 に引き続き、事業再構築による収益性改善に取り組んでまいります。

(2) 事業領域拡大

カーボンブラック事業をはじめとするその他事業については、現在の事業構造をベースに自律的成長を図ります。

(3) M&A

(1)、(2)のみでは、持続的成長が展望しにくいことから、M&A 等を利用したノンオーガニックな

成長も志向します。戦略投資枠として500億円を用意し、既存事業の周辺領域を含めた戦略的M&Aに向けた体制を整えます。

4. 中長期的な企業価値向上に向けて

中長期的な企業価値向上により、社会の持続的発展に貢献していくため、当社は、今後とも、各種情報の開示や株主の皆さまへの利益還元にも配慮して参ります。このような観点から、今般、配当方針を以下の通り明確化し、平成28年12月期決算短信において公表致しました。

「当社は、中長期的な企業価値向上を図る上で、株主に対する利益還元も重要な経営課題と考えており、毎期の業績と業績見通し、投資計画、キャッシュフローの状況等を勘案しつつ、連結配当性向30%を目安として、安定的・継続的に配当を行うよう努めてまいります」

以上